

どっと原価NEOシリーズ サポート情報

【仕訳データ転送】税無明細を非課税区分で転送する方法

1/2 page

Q: 普段は課税仕入だが、今回だけ非課税で処理したい。
仕入伝票入力で税無しの明細を入力したはずが、仕訳データ転送で課税区分が設定されてしまう。

▼仕入伝票入力

日付: 20/03/30 伝票番号: 30000787 注文番号: 110

業者: 110 土地貸付業者

工事: 100 01 会計工事1

税額表示: しない

TEL: FAX: 業者区分: 31日 消費税計算: 消

仕入 立替

No.	取引区分	立替	品名/規格	税処理	数量	単位	単価	金額
1	0 通常	☐	土地代 (2週間) 0000-0001-000001	1 外税	1.00	式	100,000.0	100,000
2	0 通常	☐	土地代 (3ヶ月分) 0000-0001-000001	3 税無	1.00	式	3,000,000.0	3,000,000

▼要素内訳一覧登録
税区分=5:課税仕入

要素: 8 土地代

No.	コード	要素内訳名	科目	借方	税区分	部門	予備
1	0	土地代	0120-0000	仕掛土地代	5		

▼仕訳データ転送

区分別: ☒ 仕入 ☐ 支払 ☐ 売上 ☐ 請負 ☐ 入金 ☐ 完成振替(仕入) ☐ 完成振替(入金)

日付: 20/03/30 ~ 20/03/30

転送種類: 明細単位

日付指定: しない 転送日付: / /

会社選択の内容: 会社コード: 会社名: 会計期: CSV

転送済: 0 未成 ☐ 完成 ☐ 両方 ☐

No.	転送済	日付	CSV	伝票番号	伝票番号	要素内訳	税処理	部門	科目	補助	税	税抜金額	消費税	税込金額
1	☐	20/03/30	117	1	30000787	80000 土地代	外税	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	100,000	10,000	110,000
2	☐	20/03/30	117	2	30000787	80000 土地代	税無	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	3,000,000	0	3,000,000
3						《仕訳伝票計》						3,100,000	10,000	3,110,000
4						《総合計》						3,100,000	10,000	3,110,000

(参考) 土地代(又は地代家賃)…1か月以内の場合は課税、1か月以上借りる場合は、非課税となります。

A: 通常は課税仕訳、特定の状況において非課税(不課税)になる場合は、
初期設定-会計情報2-伝票税区分変換を設定します。
今回は仕入のため、仕入伝票「税無明細の税区分を変換する」、
税無用税区分に非課税区分を設定します。(税区分=0:非課税)

共通情報 工事情報 仕入情報 予算情報 発注情報 会計情報1 会計情報2

転送設定

工事コード形式: 区切り文字(ハイフン)を含めない

税率転送: する

伝票最大明細数: 999

日付フォーマット: yyyyMMdd

取引先転送: 請求先

仕入振替: 完成振替する

振替税区分変換: しない

仕入仕訳並び順: 日付・伝票番号・業者順

仕訳CSV出力: 転送済にする

転送済データ修正: 編集可

転送桁数: 8

入金振替: 税無用税区分

※転送種類が

※「税無用税区分」は連携する会計ソフトによって異なるため、会計ソフト様側へご確認くださいませようお願いします。

※仕入/支払/売上/入金伝票、日報原価に対応しています。

伝票税区分変換

仕入伝票: 税無明細の税区分を変換する

税無用税区分: 0

売上伝票: しない

税無用税区分:

伝票税区分変換を「税無明細の税区分を変換する」にし、「税無用税区分」に非課税区分を設定することで、仕訳データ転送画面では、「税処理=3:税無」の明細の「税区分」が自動的に、設定した非課税区分に置き換わります。

▼仕訳データ転送

税無しの明細が非課税区分「0」になりました。

区分別	● 仕入 ○ 支払 ○ 売上 ○ 請負 ○ 入金 ○ 完成振替(仕入) ○ 完成振替(入金)
日付	20/03/30 ~ 20/03/30
転送種類	明細単位
日付指定	しない 転送日付
未成・完成	○ 未成 ○ 完成 ● 両方
会社選択の内容	会計連動 CSV 会社コード 会社名 会計期

No.	転送済	日付	CSV 伝票番号	会計 行番号	伝票番号	要素内訳	税処理	部門	科目	補助	税区分	税抜金額	消費税	税込金額
1		20/03/30	117	1	30000787	80000 土地代	外税	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	100,000	10,000	110,000
2		20/03/30	117	2	30000787	80000 土地代	税無	3 設備部	120 仕掛土地代	0	0	3,000,000	0	3,000,000
3						《 仕 訳 伝 票 計 》						3,100,000	10,000	3,110,000
4						《 総 合 計 》						3,100,000	10,000	3,110,000

なお、伝票税区分変換が「しない」の場合は、「要素内訳一覧登録」の税区分が課税で、仕入伝票入力の「税処理」で「3:税無」を選択しても、仕訳データ転送画面では「税区分」が課税のままとなります。

【補足】

その他の方法として、非課税(不課税)用の要素内訳・品名を登録する方法もあります。細かく管理されたい場合はこちらをおすすめします。

「要素内訳一覧登録」で「原価要素内訳」に非課税用の要素内訳を登録し、非課税用の品名に紐づけすることで、仕入入力時にこの品名を選択すると、仕訳が非課税で転送されます。

(例) 「土地代」の非課税用要素内訳及び品名を登録する。

▼要素内訳一覧登録

要素	8	土地代
----	---	-----

No.	コード	要素内訳名	借 方			
			科目	税区分	部門	予備
1	0	土地代	0120-0000 仕掛土地代	5		0
2	1	土地代 (非課税)	0120-0000 仕掛土地代	0		0

▼品名一覧登録

分類	品種	品名
品種	0 - 0001	土地 土地代

No.	品名コード	品名	規格	品名フリガナ	品番	単位	メーカー	サイズ	色	原価要素内訳
1	1	土地代		ト砂イ		式				80000 土地代
2	2	土地代 (非課税)		ト砂イ施イ		式				80001 土地代 (非課税)

例では、非課税用の要素内訳「土地代(非課税)」を登録し、「品名一覧登録」で、品名「土地代(非課税)」に紐づけています。こうすることで、仕入伝票入力で、「土地代(非課税)」の品名を選択した場合、非課税の仕訳が転送されます。